

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス足利西教室			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 4日		～	令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 22日		～	令和8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 29日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童のアセスメントや支援内容は職員間で共有し、統一した支援を行っている。	日々の支援記録やアセスメントをもとに、終礼や共有の時間で振り返りを行い、改善点を確認している。 また、ケース会議や研修の場で支援方法に関する意見交換を行い支援の質の向上に努めている。 保護者や学校等から得た情報も適切に記録・共有し、支援に反映している。	今後も情報共有と振り返りを継続し、より個々の児童に応じた支援が提供できるよう取り組んでいく。
2	平日および長期休暇中に送迎サービスを実施。	保護者のニーズに応じて、ご自宅への送迎サービスを提供している。 送迎を希望される保護者には、事前に当方の条件を提示し、同意書に署名をいただいている。	保護者の要望に対応できるようその都度職員の担当を振り分け、調整を行っている。
3	利用時の引き渡し時、当日の様子や変化について報告することで常に双方の情報共有ができること。	家庭や学校での様子を情報共有することで、支援内容に反映することができる。利用児の些細な変化に即時対応できる。	知り得た情報を職員間で共有し、支援の質の向上につなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会の企画・提供不足。	交流の必要性や参加への意向にばらつきがあり、企画に踏み出しにくい。	保護者のニーズや意見を聞き取り、全員参加型ではなく、選択できる形を検討していく。 保護者参加型のイベントを企画検討していく。
2	放課後児童クラブや児童館、地域の方たちとの交流が少ない。 (近隣施設での職業体験や地域での子ども達との関りはある)	現在は事業所内での活動を中心に運営しており、児童一人ひとりの支援を丁寧に行うことを優先しているため、地域住民との交流機会の設定までは至っていない。	お子さまや保護者の思いを大切にしながら、少しずつ地域とのつながりを広げる方法を考えていきたい。
3			